

GT-7 II Fineはエポキシ樹脂を主成分とする黒色被膜を形成します。光学機器のフレアやゴーストの原因となる乱反射光を防止し、光学レンズの性能を究極まで引き出します。

特徴

- 幅広い屈折率レンズにも優れた反射防止性能を発揮
- 黒が際立つ外観品位
- 密着性・耐溶剤性・耐超音波性 良好

◆製品構成◆

	GT-7 IIA Fine	GT-7 IIB	GT-7 II シンナー
概要	主剤	硬化剤	専用希釈剤
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	有機溶剤
外観	黒色液体	淡黄色透明液体	無色透明液体

◆使用方法◆

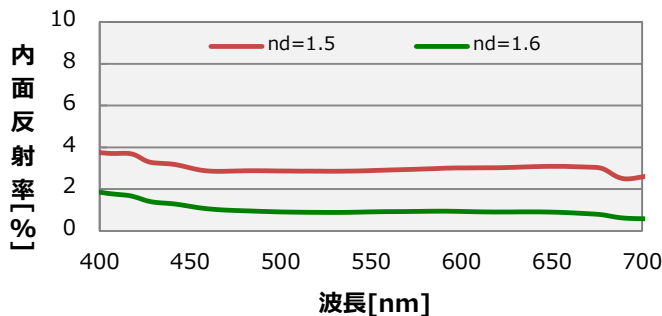
[推奨混合比] 主剤：硬化剤 = 8 : 1 ※重量混合比
専用希釈剤は塗りやすい粘度に調整してご使用下さい。

[推奨硬化条件] 80℃ 2時間 / 120℃ 1時間
※室温でも24時間程度で乾燥しますが密着性、耐溶剤性が加熱硬化した場合より劣ります。

◆被膜特性◆

項目		評価結果
反射率 ★1		10%未満
密着性 (JIS K5400)		○
耐超音波性 ★2	MEK	○
	IPA	○
耐溶剤性 ★3	MEK	△
	IPA	○
耐熱性 ★4		○
熱衝撃 ★5		○
鉛筆硬度		4H~5H

波長域における内面反射率



- ★1 : 350~850nm レンズ屈折率1.5~1.7 入射角68°
- ★2 : ガラスに形成した被膜をMEK及びIPAで3分間超音波洗浄し被膜の浮き剥がれを判定
- ★3 : ガラスに形成した被膜をMEK及びIPAを含んだシルボン紙で擦り、被膜の落ち具合を判定
- ★4 : ガラスに形成した被膜を200℃の恒温槽に24時間放置し、外観確認 (変色・浮き・剥がれ) を行い判定
- ★5 : ガラスに形成した被膜を60℃90% R H 2時間→ -30℃2時間を5サイクル後、外観確認 (変色・浮き・剥がれ) を行い判定